

「もう君たちバカなことをするのはやめてくれ。最後のお願いだ。」

東京都中学2年生、鹿川裕史くん(当時13歳)。1985年2月1日、家族と友達に宛てた遺書を残し、自らの命を絶ちました。幼稚園から一緒の同級生の友達グループの一人だった鹿川くん。最初はグループ内の些細なからかいから始まり、そのうち「下級生を殴れ」などと命令される、顔にマジックを塗られ廊下で踊りをやらされる、校庭の木に登られ歌をうたわされるなど。そして、「葬式ごっこ」。登校した鹿川くんの目に映ったのは、自分の机の上に置かれたクラスメイト(教師も加わっていた)の追悼文を寄せ書きした色紙、牛乳瓶にさした野花。「なんだよ、俺死んじゃったのかよ。」顔を引きつらせながら笑う鹿川くんの姿がありました。

5月12日、6年生で「いじめ防止教室」を行いました。講師は下津浦法律事務所(神崎市)の下津浦公(しもつうら こう)弁護士です。いじめは犯罪の集合体(「傷害罪」「侮辱罪」「恐喝罪」...)であることや「しかたがないいじめ(許されるいじめ)はない」ことなど、法の専門家の立場からお話いただきました。6年生であれば理解できたと思います。鹿川くんのこともこの中でお話いただいたものです。実際の追悼寄せ書きや鹿川くんの直筆の遺書も電子黒板で示されました。

私(校長)は当時15歳。この鹿川くんいじめ事件を覚えています。鹿川さんが生きておられれば51歳。6年生の子どもたちにとって、自分が生まれるずっと前の出来事と映ったのか、それとも自分たち同年代で起きた出来事と映ったのか。じっと話を聞く様子から後者であったと信じます。

5月は「いじめ防止強化月間」です。



交通安全教室

5月11日「交通安全教室」でした。学校外支援として、神埼警察署員、市役所防災危機管理課職員、交通指導員の方々においでいただきました。1～3年生と4～6年生に分かれて、交通安全に関する警察署員(又は市役所職員)の講話と自転車の交通安全に関するDVD視聴を行っています。

自転車点検くぶたはしゃべる>

「ぶ」・・・ブレーキ 「た」・・・タイヤ 「は」・・・ハンドル

「しゃ」・・・車体(車高、シート、反射鏡など)

「べる」・・・ベル(接近を知らせるもの、相手をどかすものではない)

「今日は私たちのために、交通安全教室に来てくださってありがとうございました。私は、お母さんやお父さんから、自転車に乗るときに『ヘルメットをつけて』と言われます。(中略)来年は、中学生で自転車で中学校に行くので、しっかりヘルメットをかぶるようにしたいと思います。今日は本当にありがとうございました。」

児童代表 6年 吉田 陽向子

校長は、「あなたたちはたくさんの方から見守られています。そのお礼の一つが『あいさつ』です。」と子どもたちに話しました。



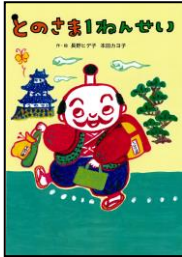
1年生は、学校外で歩行訓練も行いました。交通指導員さんが、各ポイントに立たれ、信号機のある歩道の渡り方など今一度丁寧に指導してくださいました。



ゆめどんさん「読み語りはじめ」

ゆめどんさんの「読み語りはじめ」を行いました。9名のメンバー（来校は毎回6名）が、第1、第3金曜日の朝に各学級に入って、本の読み語りをしてくださいます。初回となる5月19日は、全校の前でゆめどんさんの紹介と本を1冊読んでいただきました。タイトルは「どのさま1ねんせい」。プロジェクタースクリーンに絵本を投影しての読み語りでした。

自分で読むのもよいですが、こうやって読み聞かせていただくのもとてもよいものです。「どのさま1ねんせい」は低学年向けの絵本ですが、大人が読んだとき、大人として受け取るメッセージが込められていることにも気付かされます。奥が深いです。



おはなし集会

5月10日は「おはなし集会」でした。赴任して最初なんのことかと思っていたら、いわゆる月1回の校長の話を主とした全校集会です。今回は、『『すき』と『できる』』というテーマで、少々私（校長）のことを絡めた話をしました。話の概要は次の通りです。

「みなさんは、何の教科が好きですか。校長先生は、理科が好きです。小学生の時の理科のテストは、いつも95点以上でした。中学生では、45点以上でした。おっと勘違いしないで、中学校は50点満点なので、100点満点に直すと90点。どうですすごいでしょう。これが高校生になると29点。これは100点満点での点数です。よいときでも50点くらい。理科がさっぱりわからなくなりました。でも、嫌いにはなりません。大人になってからもずっと好きは変わりませんでした。だから大人になってから、月の観察（撮影）をしたり生き物の観察（蟬の脱皮）や飼育・繁殖（クワガタ、カブトムシ）したり興味をもっていろいろやりました。みなさんも学校の勉強にかかわらず、好きなことがあると思います。『好きなこと』が必ずしも『できること』とは限りません。反対に『できること』が『好きなこと』とも限りません。

好きなことは、諦めず続けてください。

できることはもっとできるように続けてください。

きっと人生が豊かになります。」

※小学校、中学校の時の点数は、事実に基づくフィクションです。

高校の時の点数は、ノンフィクションです。



6月の主な行事

- 1（木） 5年生自然教室（黒髪少年自然の家）
- 2（金） //
- 11（日） 日曜参観（4時間授業給食なし）
授業参観②③ 保護者向研修会④
- 12（月） 振替休
- 20（火） 不審者対応避難訓練
- 23（金） たてわり遊び

校長のひとりごと

おはなし集会でクワガタの繁殖のことを話したら、2年生の子らが、興味津々で私に話しかけてくれるようになりました。うれしいです。校長室にひよっこ顔を出し、「校長先生、（校庭で）クワガタ探しにいこう！」って誘いに来てくれました。私の心の声（いやいや、さすがにいいでしょ）とは裏腹に、「まだ、ちょっと時期が早いようだねえ」って校庭のクヌギの木を一緒に見上げました。「前に、ここで見つけたことがある」って子どもたちは、ロクに言いますが、ほんとなのでしょうか。半信半疑ですが、気になって毎日のようにこの木を見るようになってしまいました。